

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	奥野 剛史		
居室	東6-401		

公開E-Mail	授業関連Webページ
okuno@pc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>現場実習によって、生産や技術に関心と興味を深め、将来の技術者・研究者としての心構えと抱負を養う。</p> <p>知識と実際の技術の関連、信頼性と安全性などについて体得するとともに、人的協力の必要性和、自立した技術者・研究者の在り方を考える機会とする。</p> <p>実習を体験して大学・大学院教育の意義を一層理解し、卒業後の進路の指針とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

【授業内容とその進め方】

インターンシップは、原則として1年次の夏季休業中に行う。  
期間は、4週間、90時間以上とする。ただし、日数は短縮することがある。

〔履修のための準備〕

実施は概ね以下の通りに予定しているが、最終的な予定は5月上旬の掲示、および説明会で伝えるので、掲示に注意すること。

5月中旬：インターンシップ実施説明会

5月末頃：インターンシップ希望票提出締切

この時点で、インターンを希望していることについて、研究室の指導教員と相談・確認をしておくこと。

6月下旬：履修可能学生の決定および実習先の決定

7月上旬：「インターンシップ願」の提出

7月上旬：実習先企業との連絡、契約などを経て実習予定の決定

7月下旬頃から：インターンシップ実施

9月末頃：成果報告会

「インターンシップ報告書」

「インターンシップ修了書」の提出締切

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

受講者が作製する「インターンシップ報告書」と受け入れ企業が評価する「インターンシップ修了書」、さらに成果報告会の内容に基づき総合評価する。  
全てを提出し、評価が60%を越えれば合格とする。

【オフィスアワー：授業相談】

いつでも訪れてください。

2009年度のインターンシップの学科内担当は奥野（東6-401室）。

なお、実習先との連絡・調整に関しては、共同研究センターインターンシップ担当者の指示に従って下さい。

共同研究センターインターンシップ担当者：

居室：共同研究センター2階201,

Tel: 042-443-5723, e-mail: intern@crc.uec.ac.jp

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【学生へのメッセージ】

インターンシップは企業における技術者の仕事というものを知る貴重な機会であろう。

ぜひこの機会を活かしてください。

いうまでもないことであるが、インターンを行うことについて、所属研究室の指導教員に早い段階から報告・相談をしておくこと。

### 【その他】

なし